

大衆普及型 RPA「CELF RPA オプション」の機能追加版を提供開始 ～ロボットも一人一台の時代に～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SCSK)は、自社で開発したエンドユーザー向け Web アプリケーション作成・運用の国産クラウドサービス「CELF(セルフ)」の拡張オプションとして提供している「CELF RPA オプション」の最新バージョン 1.1.0 を 2018 年 11 月 13 日から提供開始します。

近年、多くの企業・自治体が「働き方改革」を推進するなかで、1つの解決策として RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション) の導入・検証が進められています。しかしその一方で、RPA を全社導入したものの、費用対効果を鑑み、個人や部署単位といった個別業務での活用は難しく、局所的な導入になっている現状があります。そこで、SCSKは、多くの方に 1 人 1 台の RPA を使っていただきたいというコンセプトで「CELF RPA オプション」を年間 35,000 円と安価に抑え、2018 年 4 月から販売・提供してきました。

このたびの最新バージョンでは、Word、Excel などのアプリケーションのほか、Web サイトに表示されている項目およびデータを識別・取得する機能(オブジェクト認識機能)を追加し、これまで以上に業務自動化を容易にします。

1. 機能追加の主な内容

オブジェクト認識による画面項目の操作、取得の機能を追加しました。

オブジェクト認識とは、Word、Excel などのアプリケーションや Web サイトの画面構造を解析して画面上の項目(テキストデータやボタン、入力ボックスといったオブジェクト)を識別し、その項目への直接操作することや情報の取得ができる機能です。

本機能追加により、Web サイト上や Excel のセル上の文字列を取得したり、Outlook でテキストボックスやドロップダウンに値を設定するといった操作が、従来と比較し数十分の一の作業時間で設定可能になります。

2. 提供価格

年間利用料:35,000 円(税別)／1 台

※ 実行ライセンス・開発ライセンス込み。その他初期費用不要

※ 別途、CELF 本体(年間利用料:175,000 円(税別)／10 ユーザー)の購入が必要

【参考】「CELF RPA オプション」の2つの特長

(1) Web アプリケーション開発機能と RPA の融合

RPA を導入する際、手作業や標準化されていない業務があった場合は、Access や Excel マクロなどで業務を標準化する必要がありました。CELF はシステム化を RPA オプションと同様の操作で設定可能となっています。そのため、CELFを活用すれば1つの基盤上で作業効率化を実現することが可能となっています。

(2) 導入しやすいコストの実現

RPA オプションは、1 台あたり年間 35,000 円でご提供します。特定の部門から導入してみるなど、スマートスタートが可能な「大衆普及型」の RPA です。システム投資を抑えるとともに、毎日数分の業務改善でも費用対効果を発揮します。

また、専門知識がなくても、一般ユーザーが簡単な画面操作によって業務自動化の設定ができるため、IT ベンダーへの委託や維持費用など高額な費用は不要です。

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

流通システム第一事業本部 システム第二部 CELF・Curl プロダクト課

TEL:03-5166-1715

E-mail: celf_sales@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

広報部 栗岡

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。